

マイルストーン開示に係る事業計画の修正について
(平成23年12月期～平成24年12月期)

平成24年2月10日

上場会社名 テラ株式会社
(URL <http://www.tella.jp/>)

(コード番号：2191)

問合せ先 代表取締役社長 矢崎 雄一郎
取締役 山本 龍平

TEL：(03) 6272-6477

平成24年1月31日発表の「平成23年12月期業績予想の修正に関するお知らせ」における平成23年12月期の業績予想の修正に伴い、下記のとおり「マイルストーン開示に係る事業計画について」を修正いたしました。

1. 今後の事業計画 (平成23年12月期～平成24年12月期)

(1) 今後の業績目標 (平成23年12月期～平成24年12月期)

<修正前>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成23年12月期 (計画) (連結)	<u>1,384</u>	<u>40</u>	<u>19</u>	<u>7</u>
平成24年12月期 (目標) (連結)	<u>1,996</u>	<u>245</u>	<u>239</u>	<u>135</u>

<修正後>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成23年12月期 (実績) (連結)	<u>1,322</u>	<u>71</u>	<u>52</u>	<u>16</u>
平成24年12月期 (計画) (連結)	<u>1,513</u>	<u>70</u>	<u>57</u>	<u>24</u>

(注) 平成23年12月期については、実績値を記載しております。

【修正理由】

① 平成 23 年 12 月期

当社グループの売上高につきましては、細胞治療技術開発事業における樹状細胞ワクチン療法^{※1}の症例数の増加及び細胞治療支援事業を行うバイオメディカ・ソリューション株式会社の連結子会社化により、1,322 百万円となりました。利益面につきましては、細胞治療支援事業が加わったものの、中期成長戦略のための先行費用を計上したため、営業利益は 71 百万円、経常利益は 52 百万円、当期純利益は 16 百万円となりました。

② 平成 24 年 12 月期

平成 24 年 12 月期につきましては、既存の契約医療機関と連携して治療を行う連携医療機関の開拓をさらに強化することにより、症例数を増加させてまいります。また、平成 23 年 12 月期に引き続き、臨床試験・研究を推進することによりエビデンス（科学的根拠）の強化を図り、患者及び医療従事者へ樹状細胞ワクチン療法の認知・普及を拡大させてまいります。さらに、新規がん抗原^{※2}及び免疫細胞療法の開発・応用を大学等医療機関と共同で推進し、契約医療機関へ早期導入を目指してまいります。新規事業につきましては、平成 23 年 12 月期より、アジアを中心とする海外市場への参入について慎重に調査・検討を行ってまいりましたが、平成 24 年 12 月期につきましては、早期に海外展開できるよう準備を推進してまいります。バイオメディカ・ソリューション株式会社は、細胞加工施設の運営受託及び保守管理サービス等を行っておりますが、更なる事業拡大を図り、細胞治療支援事業を推進してまいります。

当社グループの売上高につきましては、国内の景気動向、平成 23 年 12 月期の業績を踏まえて、前回開示した事業計画の目標値を、1,996 百万円から 482 百万円減の 1,513 百万円に修正いたしました。利益面につきましては、承認医療に向けた大学医療機関等との共同臨床研究、新規がん抗原を用いた樹状細胞ワクチン療法及び新規がん免疫療法に関する研究開発、海外展開の準備等中長期の成長に向けた新たな投資を推進するために、前回開示した事業計画の目標値を、営業利益は 245 百万円から 174 百万円減の 70 百万円、経常利益は 239 百万円から 182 百万円減の 57 百万円、当期純利益は 135 百万円から 110 百万円減の 24 百万円に修正いたしました。

(2) マイルストーン開示に係る事業計画の概要

【各年度の開拓計画】及び【契約医療機関数】

<修正前>

① 平成 23 年 12 月期

・ 基盤提携医療機関	開拓計画 1 ヶ所
・ 提携医療機関	開拓計画 1 ヶ所
・ 連携医療機関	<u>開拓計画 5 ヶ所</u>

② 平成 24 年 12 月期

・ 基盤提携医療機関	<u>開拓目標 0 ヶ所</u>
・ 提携医療機関	開拓目標 1 ヶ所
・ 連携医療機関	開拓目標 8 ヶ所

(単位：医療機関)

	基盤提携 医療機関	提携 医療機関	連携 医療機関	合計
平成23年12月期(計画)	<u>10</u>	<u>8</u>	<u>6</u>	<u>24</u>
平成24年12月期(目標)	<u>10</u>	<u>9</u>	<u>14</u>	<u>33</u>

<修正後>

① 平成23年12月期

- ・基盤提携医療機関 開拓実績1ヶ所
・独立行政法人 国立国際医療センター
- ・提携医療機関 開拓実績1ヶ所
・長崎大学病院
- ・連携医療機関 開拓実績3ヶ所
・健康増進クリニック
・鶴見大学
・医療法人社団洗心 島村トータル・ケア・クリニック

② 平成24年12月期

- ・基盤提携医療機関 開拓計画1ヶ所
- ・提携医療機関 開拓計画1ヶ所
- ・連携医療機関 開拓計画8ヶ所

(単位：医療機関)

	基盤提携 医療機関	提携 医療機関	連携 医療機関	合計
平成23年12月期(実績)	<u>11</u>	<u>7</u>	<u>4</u>	<u>22</u>
平成24年12月期(計画)	<u>12</u>	<u>8</u>	<u>12</u>	<u>32</u>

(注1) 平成23年12月期については、実績値を記載しております。

(注2) 仙台駅前アエルクリニックは、平成23年1月に提携医療機関から基盤提携医療機関に契約変更いたしました。

【修正理由】

① 平成23年12月期

基盤提携医療機関及び提携医療機関につきましては、事業計画とおりに開拓計画を達成し、開拓実績は、基盤提携医療機関1ヶ所、提携医療機関1ヶ所となりました。連携医療機関につきましては、開拓計画を5ヶ所としていましたが、開拓実績は3ヶ所となりました。

② 平成24年12月期

基盤提携医療機関につきましては、開拓計画を0ヶ所から1ヶ所に変更いたしました。提携医療機関及び連携医療機関につきましては、2011年12月期の開拓計画から変更はありません。

(3) マイルストーン開示に係る事業計画達成のための組織体制、財務政策、今後の展望

<修正前>

契約医療機関の支援に係る人員数推移

平成 23 年 12 月期 (計画)	平成 24 年 12 月期 (目標)
23 名	25 名

<修正後>

契約医療機関の支援に係る人員数推移

平成 23 年 12 月期 (実績)	平成 24 年 12 月期 (目標)
21 名	25 名

【修正理由】

平成 23 年 12 月期の契約医療機関の支援に係る人員数につきましては、平成 23 年 12 月期第 3 四半期末に人員計画 23 名を達成しておりましたが、慶應義塾大学医学部との連携強化を図るため、技術コンサルタント 2 名を研究開発部に異動したことにより、2 名減の 21 名となりました。平成 24 年 12 月期につきましては、変更はありません。

2. 用語解説

※1：樹状細胞ワクチン療法

本来、血液中に数少ない樹状細胞（体内に侵入した異物を攻撃する役割を持つリンパ球に対して、攻撃指令を与える司令塔のような細胞）を体外で大量に培養し、患者のがん組織や人工的に作製したがんの特徴を持つ物質（がん抗原）の特徴を認識させて体内に戻すことで、樹状細胞からリンパ球にがんの特徴を伝達し、そのリンパ球ががん細胞のみを狙って攻撃する新しいがん免疫療法。いわゆる「がんワクチン」のひとつであり、自己の細胞を用いるため、副作用はほとんどないと言われています。

※2：がん抗原

がん細胞に特徴的なしるしをいい、がん細胞の性状を示すものです。特徴的なしるしであるため、がん抗原を観察することにより、腫瘍の種類だけでなく正常細胞とも区別することができます。がん抗原はその大部分がたんぱく質でできているため、免疫細胞の標的とすることができます。現在、がん抗原を人為的に免疫細胞に覚えさせるために、がん抗原たんぱく質の一部（ペプチド）を化学合成し、ワクチンとして用いる試みがなされています。

以上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。